病児保育室とう太通信

vol.21

子どもの健康を支える病児保育室とう太の役割

病児保育室とう太では、このたび全国病児保育研究大会で、当施設の利用状況や地域での取り組みについて発表しました。病児保育は、病気のときにお子さんをお預かりするだけの場所ではありません。園・家庭・医療をつなぎながら、地域の子どもたちの健康を支える大切な仕組みです。今回は発表の内容もふまえながら、とう太が野洲市で果たしている役割をわかりやすくご紹介します。

病児保育は、野洲市の子どもたちの健康を守ります

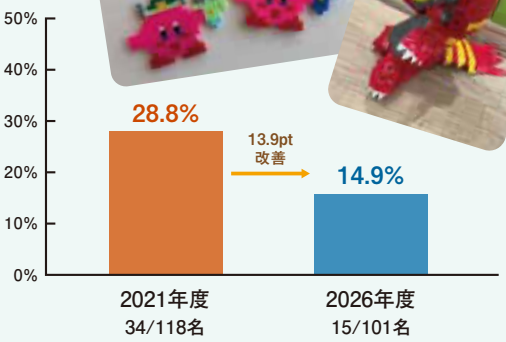
お子さんが前日の夜に高い熱を出し、朝には少し下がっている。そんなとき、「今日は登園できるかな?」と迷うことは、どのご家庭にもあると思います。当施設の調査では、「前日夜に38度台の発熱があり、朝に解熱していた場合に登園させる」と答えた割合が、2021年度の28.8%から2025年度には14.9%へ低下していました。これは、病気のときに「無理をして登園させる」以外の選択肢として、病児保育が地域に根づいてきた結果と考えられます。

病児保育は、保護者の就労支援という一面だけではなく、園に通う**子どもたち全体の健康を守る「こども支援」**につながっているのです。



病児保育利用児の作品





「朝の解熱だけで登園させる」と回答した割合

病児保育は、野洲市の子育ての中で身近な存在になっています

とう太は、病気のときに通う**もうひとつの保育園**であり、**「あって当然」の子育てインフラのひとつ**になってきています。

2025年度の実績では、年間延べ利用者数は1,536名で、この利用者数は、全国の病児保育施設の中でも高い水準にあり、試算上、野洲市内の未就学児の約4割がとう太を利用している計算になります。また、滋賀県内には病児保育施設が21か所ありますが、とう太だけで県内利用者全体の約15%を占めています。急速に進む少子化の中でも、多くのご家庭に利用されており、病児保育が地域の中で必要とされていることが分かります。

病児保育は、一部の限られた家庭のためのものではなく、野洲市の子育てを支える地域の仕組みとして広がっています。

野洲市唯一の病児保育施設

医療法人くれよん うえだこどもクリニック 病児保育室とう太

■ **施設基本情報**

利用対象者：市内在住世帯または市内在勤世帯　※滋賀県は広域化未整備
定員：8名　**予約方法**：Web予約可能　**野洲市人口**：50,581人（4/1現在）

■ **利用実績（2025年度）**

年間延べ利用者数 1,536名	野洲市0歳人口 (2026/3/31現在) 324人
年間利用率 全国平均 40%程度 80.5%	年間 新規利用者数 139人



健康保健指導の様子

顔の見える関係が、安心して利用できる病児保育につながっています



当施設では2018年度より、保育士と看護師が野洲市内の認可教育・保育施設を定期的に訪問し、健康教育や保育に役立つ医療情報の提供を行ってきました。市内全14施設へ、年間のべ70回にわたる健康保健指導を続け、**地域との「顔の見える関係づくり」**を大切にしています。病気のときだけ利用する場所と思われがちですが、普段から地域とつながっていることで、初めて利用する際の不安は大きくやわらぎます。こうした地道な取り組みが、病児保育をより身近にし、安心して利用しやすい環境づくりにつながってきたと考えています。

裏面もご覧ください

安心して子育てと仕事を両立できる地域へ

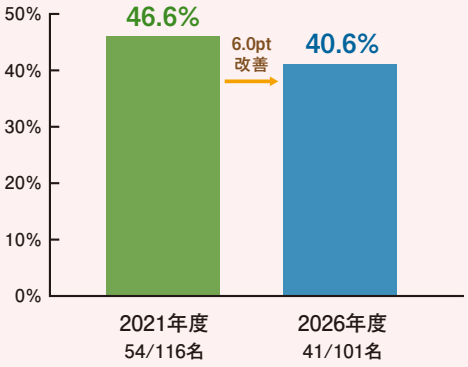
「お子さんの健康に不安があっても、登園させたあとに呼び出されたほうが仕事を休みやすい」と回答した保護者は、改善傾向にあるとはいえ、いまだに40.6%います。病気の子どもを持つ保護者を取り巻く社会の意識には、まだ改善の余地があるように思われます。

子育て世帯が安心して暮らしていくためには、**身近に正しい医療情報へ簡単にアクセスできること、そして病気のときであっても、適切な保育看護が受けられる病児保育が、保育現場と連携しながら提供されることが大切**です。

そのような環境が整うことで、保護者も安心して社会活動を続けることができます。



看護師の巡回訪問の様子



「呼び出しの方が休みやすい」と思う割合

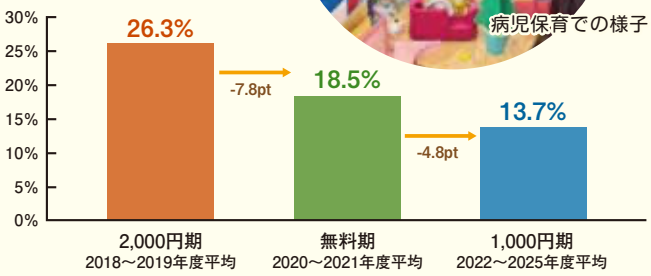
利用しやすい制度づくりも大切です

病児保育は、必要なときに安心して利用できることが何より大切です。当施設では、開設当初は全国平均並みの2,000円でスタートし、その後コロナ禍では一時無料、現在は1,000円で運営しています。利用料金が2,000円だった時期にはキャンセル率平均は26.3%でしたが、その後低下し、現在の1,000円になってからは平均13.7%（2025年度は11.4%）まで改善しました。無料期間を経たあとに1,000円へ変更しても、キャンセル率は上がりませんでした。つまり1,000円は、「高すぎて使いづらい」ことも、「無料だから安易に予約しやすい」ことも起こしにくい、ちょうどよい料金だと考えられます。もし病児保育を、もっと市民にとって使いやすく、子育てに寄り添った仕組みにしていくのであれば、窓口料金に対する公的補助が重要だと私たちは考えています。



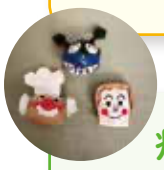


病児保育での様子



当日キャンセル率の期間別平均

2,000円期→無料期→1,000円期で段階的に改善



住む場所にかかわらず、病児保育を使える仕組みへ

滋賀県では、一部の地域を除いて病児保育の広域利用が十分に整っていないため住所のある市町内の施設しか利用できません。一方で全国的には、病児保育を広域で利用できる地域が急速に広がっています。病児保育は、とても意義のある制度です。その恩恵は、住む場所にかかわらず、すべての子どもたちが等しく受けられることが望まれます。必要なときに必要な支援につながれるよう、居住地にかかわらず利用しやすい仕組みが整うことを願っています。

これからも、地域とともに子どもの健康を支えていくために

病児保育は、病気のときに預かるだけの仕組みではありません。**地域に根付き、子どもだけでなく、子どもを取り巻く大人たちともつながりながら、安心して子育てができる環境を支えていくこと**が、これからますます大切になると考えています。私たちの活動が、その一助となれば幸いです。

皆さま、とう太をこれからもよろしくお願い申し上げます。



病児保育での様子

※利用者数、キャンセル率、アンケート結果は、当施設の利用実績および利用者アンケートに基づくものです。
※野洲市人口、0歳人口、県内病児保育施設数等は、公表資料および当施設把握資料をもとに記載しています。
※未就学児利用割合および県内利用割合は、県の報告と当施設実績に基づく試算です。

今年も開催！

ぜひお越しください！

とう太の夏祭り

日時 **8月11日（火・祝）** 午前の部／10時～12時　午後の部／13時～15時

会場 **アル・プラザ野洲　1階 セントラルコートにて**



病児保育室とう太 併設 うえだこどもクリニック
UEDA CHILDREN'S CLINIC

〒520-2331 野洲市小篠原869番地1　077-596-3751

web予約受付

Instagram UEDAKODOMOCL

LINE ID：276kwqfx